

地域における障害者スポーツ普及促進事業の進捗状況【各県市の事業計画に基づき作成】

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
神奈川県	【行政】 政策局総務室(事務局) 保健福祉局障害福祉課 教育局スポーツ課 市町村障害福祉所管課 市町村スポーツ所管課(都市体育振興連絡協議会、町村体育振興連絡協議会)	<実施時期> 1回目 9月15日 2・3回目 1月～3月を予定	・地域における障害者スポーツ実施状況等調査 ・「かながわパラスポーツ」普及に向けたモデルプランの検討・策定	○地域における障害者スポーツ実施状況等調査(本事業での再委託による実施)の実施結果等を題材とした、「かながわパラスポーツ」の普及に当たっての課題、好事例の抽出 <実施箇所数>約1,400か所(自治体、学校、スポーツ施設、総合型地域スポーツクラブ、障害者スポーツ指導者協議会、障害者団体、障害者支援施設、スポーツ団体、レクリエーション団体、企業等) <実施時期>11月～3月 <実態調査報告書完成>3月
	【スポーツ関係】 体育協会 レクリエーション協会 スポーツ推進委員連合会 総合型地域スポーツクラブネットワーク	【検討事項】 ①地域が抱える課題(障害者スポーツに対する認識、活動する場及びコミュニティの不足、指導者の育成、健常者との連携など)への対応(本事業での再委託による調査結果も活用する) ②①の検証結果を踏まえた具体的・効果的なモデルプランの検討・策定		○上記の検証を踏まえた、具体的・効果的なモデルプラン(効果的なイベントや「かながわパラスポーツ」指導者育成研修プログラム案)の検討・策定 <モデルプラン策定>3月
	【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ指導者協議会			
	【福祉関係】 身体障害者連合会			
	【有識者等】 大学関係者 企業関係者(経営者協会ほか)			

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
新潟県	【行政】 障害福祉課 県民スポーツ課 義務教育課 【教育関係】 特別支援学校体育連盟 【スポーツ関係】 体育協会 レクリエーション協会 【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ協会 障がい者スポーツ指導者協議会 障害者スポーツ競技者 障害者スポーツ支援者 【福祉関係】 障害者交流センター 社会福祉協議会 障害者社会参加推進センター	＜実施時期＞ 1回目 9月11日 2回目 来年2月(予定) 【検討事項】 ①新潟県の障害者スポーツ推進の課題について 実行委員会構成メンバーの連携体制構築と役割について ③指導者・支援者の育成について ④全県的な活動場所の確保について ⑤本事業(支援者講習会、スポーツ教室、理解啓発イベント)の開催について	・2地域で、それぞれ総合型地域スポーツクラブ、障害者福祉施設を拠点とし活動 佐渡地域では障がい者スポーツ協会設立予定	○下越地域 【概要】 総合型地域スポーツクラブを拠点に、地域のスポーツ・障害福祉に関する支援者、クラブスタッフ、障がい者スポーツ指導員等が参画、協働して支援者研修会及びスポーツ教室を実施する。 ＜実施回数＞ 関係者会議:平成27年7月、12月(2回) 支援者研修会:平成27年8月～9月(2回) スポーツ教室:平成28年9月～11月(4回) ＜種目＞ 体操&ダンス、フライングディスク、ボッチャ、ポールウォーキング等 ○佐渡地域 【概要】 障害者福祉施設、特別支援学校等が一体整備されている新穂地区を拠点に、地域のスポーツ・障害者福祉関係者、スポーツ推進員、障がい者スポーツ指導員が参画、協働して支援者講習会及びスポーツ教室を実施する。 ＜実施回数＞ 関係者会議:平成27年7月、12月(2回) 支援者研修会:平成27年8月～9月(2回) スポーツ教室:平成28年9月～11月(4回) ＜種目＞ 体操&ダンス、フライングディスク、ボッチャ、陸上競技等
			・パラ競技体験会	【概要】 2020東京パラリンピック開催決定に当たり、障害者スポーツの理解促進を図るために、パラリンピアン等を講師に招き、ジュニア層の障害者や特別支援学校の生徒等を中心に様々な競技種目の体験イベントを開催する。併せて、パラリンピックの情報や写真、特殊スポーツ用具等の展示会を行う。 ＜種目＞ 車いす種目(陸上、バスケ)、ブラインドサッカー、ゴールボール、シッティングバレー、ボッチャ(肢体) ＜実施回数＞ 平成27年10月、11月(2回)、平成28年1月の4回

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
岐阜県	【行政】 競技スポーツ課 障害福祉課	＜実施時期＞ 1回目 11月18日 2回目 来年2月 【検討事項】 県の既存及び来年度以降実施予定事業を有機的に実施していくための実施方法や効果についての検討。	・障がい者アスリート発掘教室開催事業	○障がい者アスリート発掘教室開催事業 【概要】 2020年東京パラリンピックを見据え、また、県全体の障がい者スポーツ人口の拡大を図るため、以下の競技を中心としたスポーツ教室を実施する。教室では、障がい者に限らず、健常者を交えた教室とするなど、障がい者スポーツに対する一般県民の認知度や理解を促進し、競技の普及をはじめとした障がい者スポーツのますますの機運の醸成を図る取組みも実施。 ＜実施競技＞ （4競技）：ボッチャ、ゴールボール、シッティングバレー、車いすテニス ＜実施時期回数＞ 平成27年12月～平成28年2月のうち各2回を予定
	【スポーツ関係】 体育協会 スポーツ推進連絡協議会 【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ協会 【福祉関係】 手をつなぐ育成会 【有識者等】 大学関係者 医療関係者		・障がい者スポーツ指導者養成事業	○障がい者スポーツ指導者養成事業 【概要】 県における障がい者スポーツを支える障がい者スポーツ指導員の養成講習会を実施。これまでの対象者からさらに拡大し、地域のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの指導者などに対して積極的な参加を促し、県内の障がい者スポーツ振興の体制を構築する。 ＜実施内容＞ 地域のスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの指導者などを対象とした障がい者スポーツ指導員の養成講習会の実施。平成28年2～3月に計1回実施（60人/年）

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
滋賀県	【行政】 教育委員会 健康医療福祉部 【教育関係】 特別支援学校長会 【スポーツ関係】 体育協会 総合型地域スポーツクラブ スポーツ推進委員協議会 【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ協会 障害者スポーツ指導者協議会 【福祉関係】 障害者福祉センター 身体障害者福祉協会 手をつなぐ育成会 精神障害者家族会連合会 リハビリテーションセンター 【有識者等】 大学	<実施時期> 1回目 10月2日 2回目 11月13日 3、4回目 年度末 【検討事項】 ①障害者スポーツの受入マニュアル作成と障害者スポーツ普及研修事業(委託) ② 障害者スポーツのボランティア養成実践事業(委託) ③ 障害者スポーツの新規拠点整備実証研究(委託) ④ 障害者スポーツの情報発信	①総合型スポーツクラブ等を拠点とした障害者スポーツに関する受入れマニュアル	○総合型地域スポーツクラブ等を拠点とした障害者スポーツに関する受入マニュアルについて 【概要】 障害者スポーツを先行して地域実践しているYASUほほえみクラブに受入マニュアル作りを委託し、実践を通してマニュアルの精度を高めていく。 地域での障害者スポーツ拠点の選定については、総合型地域スポーツクラブを中心に県内7地域でワークショップ型の研修会を行い、地域の障害者スポーツの現状と今後の取組について意見交換を実施する。 あわせて、YASUほほえみクラブには地域において障害者スポーツ教室等の事業を始める際の相談支援などを担ってもらう。 本事業の実行委員会は、地域の取組が円滑に実施できるように助言、サポートする。 また、研修や実践を通じて障害者スポーツに興味をもった参加者に対しては、障害者スポーツ指導者協議会が開催する初級障害者スポーツ指導者資格講習会等への受講を勧め、専門的な障害者スポーツ指導力の向上を図る。 <実施箇所数> ワークショップ型研修会 県下7か所、障害者スポーツ教室等 県内3か所 <実施時期> 9月～2月(随時) <実施回数> (研修)1か所当たり1回、(教室等)1か所当たり1～3回
			②大学と連携した障害者スポーツ支援者養成マニュアル	○大学と連携した障害者スポーツ支援者養成マニュアルの作成について 【概要】 学生自身が障害者施設や総合型地域スポーツクラブで実際に障害を持つ方との交流や現場研修を行い、体験を通しての障害理解を深める。次に大学教授、専門家の意見を踏まえながらマニュアルを作成し、地域住民を対象として障害者スポーツ体験教室を開催する。その取組の中で障害を持つアスリートや大学教授や実行委員会からマニュアルの評価、改善をしてもらい、再委託先の総合型地域スポーツクラブ3団体で実証研究をする。 <実施時期> 7月～
			③障害者スポーツの新規拠点整備実証研究(委託)	○障害者スポーツの新規拠点整備実証研究について 【概要】 委託団体については、本事業の実行委員会で候補団体の適性を見極め、県が委託先を決定する。その後、①②のマニュアルを用いて、それぞれの地域で障害者スポーツを実践してもらう。実践を通じて課題を見極める中で、実行委員会にフィードバックし、マニュアルを完成させる。 <実施時期> 12月～ <委託先> 総合型地域スポーツクラブ3団体 (第2回実行委員会にて委託候補者としての適性は認められた)
			④障害者スポーツの情報発信について	○障害者スポーツの情報発信について 【概要】 地域における障害者スポーツへの取組状況を調査する。障害者スポーツに取り組むことが難しい要因を明らかにし、次年度以降の障害者スポーツの地域展開に向けた基礎資料とする。 <調査時期> 1月～3月 <調査対象> 県内総合型地域スポーツクラブ、学校 <実態調査報告書完成> 3月

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
大阪府	大阪府附属機関 「大阪府自立支援協議会」 障がい者スポーツ普及促進部会を 設置し、実行委員会として位置付 け 以下、部会構成 【行政】 大阪府福祉部自立支援課(事 務局) 【スポーツ関係】 大阪体育協会事務局長 大阪府レクリエーション協会事務局 長 【障害者スポーツ関係】 大阪府障がい者スポーツ協会事 務局長 大阪障害者スポーツ指導者協議 会会長 【福祉関係】 大阪府障がい者交流促進セン ター所長 【有識者等】 ロンドンパラリンピック陸上銅メダリスト	<実施時期> 12月9日(水) 2月下旬予定 【検討事項】 ①大阪府の障がい者スポーツ の競技力の向上を含めた障がい 者スポーツの普及策への指 導助言や東京オリンピック・パ ラリンピックに向けた大阪府の 取組に対する指導助言 ②下記実践研究の進行管理 及び事業成果の検証と、障がい 者スポーツの普及促進プロ グラムへの指導助言	・トップアスリートによる 座談会と体験会 ・トップアスリートによる 障がい者スポーツ教室 ・市町村(総合型ス ポーツクラブ含む)や 府立学校での障がい 者スポーツ教室 ・市町村(総合型ス ポーツクラブ含む)や 府立学校でのスポー ツ・レクリエーション教 室	○トップアスリートによる座談会と体験教室 【概要】 パラリンピック出場選手による講演会・実演・体験教室 <実施時期>8月30日(日) <回数>1回 ≪委託団体≫ NPO法人 パラリンピックキャラバン ○小中学校及び府立学校(支援学校含む)でのトップアスリート障がい者スポーツ教室 【概要】 小中学校及び高校・支援学校の生徒を対象としたパラリンピック出場選手によるスポー ツ教室 <実施時期>9月3日(木)、11月9日(月)、12月11日(金)、1月14日(木) <回数>4回 ≪委託団体≫NPO法人 パラリンピックキャラバン ○市町村(総合型スポーツクラブ含む)や府立学校(支援学校含む)での障がい者スポーツ教室 【概要】 高校・支援学校の生徒を対象とした障がい者アスリートによるスポーツ教室 <実施時期>11月5日(木)、12月5日(木)、12月15日(火) <回数>3回 ≪委託団体≫大阪府障がい者スポーツ協会 ○市町村(総合型スポーツクラブ含む)や府立学校(支援学校含む)でのスポーツ・レクリエーション教室 【概要】 市町村の指導者等を対象とした障がい者スポーツ教室・レクリエーション教室 <実施時期>11月21日(土)、12月12日(土)、1月中旬、1月31日(日)、2月11日(木)<回数>5回 ≪委託団体≫大阪府レクリエーション協会

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
徳島県	【行政】 県民スポーツ課 障がい福祉課 特別支援教育課 体育学校安全課	<実施時期> 1回目 9月18日 2回目 11月11日 3回目 12月末 4回目 1～2月頃	・特別支援学校の児童生徒の障がい特性に応じた「ニュースポーツ」の実践及び交流	○児童生徒の障がい特性に応じたスポーツ種目を活用した地域交流事業 【概要】 特別支援学校の生徒の障がい特性に合った「ニュースポーツ」の実践及び交流 <日時> 平成27年10月以降 <場所> 県東部及び県西部の2校 <対象者> 特別支援学校に通う児童・生徒
	【スポーツ関係】 スポーツ振興財団 総合型地域スポーツクラブ	【検討事項】 ①スポーツ関係者、障がい福祉関係者等が、各地域で連携、協働し、障がい者スポーツの普及啓発の方策を検討することができる体制を構築する。	・重度障がい者も含めた普及促進事業(ポッチャ)	○重度障がい者も含め誰もが参加できる「ポッチャ」競技の普及促進事業 ・ポッチャ講習会 <日時> 平成27年11月以降、県央・県西・県南の3地域において、各4回計12回実施 <対象者> 障がい者、家族、施設職員等 ・ポッチャ審判講習会 <日時> 平成27年11月予定 <対象者> 障がい者スポーツ指導員等
	【福祉関係】 ノーマライゼーション促進センター 身体障害者連合会 手をつなぐ育成会	②障がい者スポーツの普及啓発の方策等を検討し、その一環として、実践研究の進行管理、事業成果の検証等を行い、障がい者スポーツの普及促進プログラムをまとめる。	・特別支援学校での選手育成事業 ・出張スポーツ教室の開催	○特別支援学校での選手育成事業 ○出張スポーツ教室の開催 <日時> 平成27年11月以降、県央・県西・県南の3地域において、各4回計12回実施 <種目等> 阿波踊り体操、フライングディスクを始めとしたニュースポーツ等、楽しく体を動かすレクリエーション <指導者> スポーツ指導員、各競技団体等
	【有識者等】 大学		・ランニング・プログラム ・持久水泳普及事業	○ランニング・プログラム <日時> 平成27年11月29日 <参加者> 障がい者、参加者、指導員 5人組×10チーム 計50名 <内容> 第一部:ウォーミングアップ、2kmラン 第二部:振り返りトーク 第三部:交流・ミーティング ○持久水泳普及事業 ・普及促進基礎事業「ふれあいスイミング」 <定員> 障がいのある4才から高校生とその保護者30組 <開催回数> 6回/年 ・普及促進支援事業「持久水泳認定会」 <開催回数> 年1回程度

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
佐賀県	<p>【行政】 県スポーツ課 市スポーツ担当部局</p> <p>【スポーツ関係】 スポーツ推進委員協議会 レクリエーション協会</p> <p>【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ指導者協議会 障がい者スポーツ協会</p> <p>【有識者等】 大学</p>	<p><実施時期> 1回目 8月7日 2回目 来年1～2月</p> <p>【検討事項】 ①関係団体間のネットワーク形成のあり方 地域(市町)での障害者スポーツ推進体制のあり方 ②「スポーツ交流会」の企画 ③「スポーツ交流会」の結果検証及び改善 ④住民スポーツクラブ等の役割・機能 ⑤『障害者スポーツの普及促進』のためのプログラム取りまとめ</p>	<p>・スポーツ交流会の開催</p>	<p>【概要】 日ごろスポーツにあまり親しんでいない障害者がスポーツを体験し、スポーツを行うきっかけになること、また、関係機関のネットワーク形成に資することを目的とし、以下のとおりスポーツ交流会を開催。 <実施時期>11月 <実施回数>2回 <実施種目>ボッチャ、卓球バレー、スポーツ吹き矢 <参加者>障害者、学生、スポーツ推進委員 等</p>

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
大分県	【行政】 体育保健課 特別支援教育課 障害福祉課	<実施時期> 1回目 11月16日 2回目 1月中旬 3回目 2月下旬	・障害者スポーツ人材派遣事業	○障がい者スポーツ人材派遣事業 【概要】 障がい者が身近な地域でスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、障がいのある人となない人がスポーツを通じて交流を図り相互理解を深めていくためのノウハウを開発する。障がい者スポーツの指導を希望する地域や団体等に、人材バンクに登録された指導者等を派遣し、障がい者スポーツの普及、定着を図る。 <実施時期> 平成27年9月～平成28年3月 <回数> 20回
	【教育関係】 特別支援学校長会	【検討事項】 ① 障がい者スポーツ普及の体制づくり ② 実践研究の進行管理、成果の検証 ③ 障がい者スポーツの普及促進方策の検討	・特別支援学校での障害者スポーツ体験会	○特別支援学校での障がい者スポーツ体験会 【概要】 特別支援学校を地域の障がい者スポーツの拠点と位置付け、重点的に障がい者スポーツのアスリートや指導員等を派遣し、複数の競技を対象とした出前スポーツ教室を開催する。 <実施時期> 平成27年9月～平成28年3月 <回数> 5回
	【スポーツ関係】 スポーツ推進委員協議会 総合型地域スポーツクラブ 体育協会 レクリエーション協会		・スポーツ推進委員への研修会	○スポーツ推進委員への障がい者スポーツ研修会 【概要】 地域のスポーツ振興を担っているスポーツ推進委員に対し、障がい者スポーツの理解を深めてもらうため、障害者スポーツ指導員を講師として派遣し研修会を開催する。 <実施時期> 平成27年9月～平成28年3月 <回数> 4回
	【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ指導者協議会 障がい者体育協会		・子供ふれあい交流事業	○子どもふれあい交流事業 【概要】 障がい者スポーツの素晴らしさを子どもたちに知ってもらうため、車いすマラソンやパラリンピックに出場したトップアスリートを、小中学校等に派遣し講演会や体験会を実施する。 <実施時期> 平成27年9月～平成28年3月 <回数> 14回
	【福祉関係】 社会福祉協議会			
【有識者等】 学識経験者				

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
札幌市	【行政】 観光文化局スポーツ部 保健福祉局障がい保健福祉部 スポーツ推進委員会	＜実施時期＞ 1回目 7月30日 2回目 11月20日 3回目 1月28日	・障がい者スポーツ体験イベント「知ろう！ やってみよう！ パラスポーツ」の開催	○障がい者スポーツ体験イベント「知ろう！ やってみよう！ パラスポーツ」の開催 【概要】 障がいのある方にもない方にも、スポーツを通じて相互理解を深めるとともに、パラスポーツ（障がい者スポーツ）の楽しさや魅力を発信することを目的とした体験イベントを開催する。複数のパラスポーツ競技の体験会、障がい者スポーツ選手・元プロスポーツ選手との交流会、パラスポーツに関するパネル展示等、多様な企画を複合的に盛り込むことで、幅広い参加者を対象とする。 ＜実施時期＞ 10月31日 ＜来場者数＞ 107名
	【教育関係】 特別支援学校 【スポーツ関係】 健康スポーツ財団 市体育協会 【障害者スポーツ関係】 障がい者スポーツ協会 【有識者等】 大学	【検討事項】 札幌市の地域特性に応じた障がい者スポーツの普及促進について	・障害者スポーツの普及促進に関する調査	障がい者スポーツの普及促進に関する調査研究 【概要】 障がいのある方のスポーツの実施状況やニーズ等を把握するためのアンケート調査を行うとともに、関係団体や施設管理者等に対するヒアリング調査を実施し、これらの集計と分析の結果を今後の障がい者スポーツ振興施策の検討材料とする。 ＜実施時期＞ 9日～2日

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
川崎市	<p>【行政】 スポーツ主管部局 障害福祉主管部局 総合企画局企画調整課 教育委員会事務局 区役所地域振興課</p> <p>【教育関係】 市立中央支援学校</p> <p>【スポーツ関係】 スポーツ協会 総合型地域スポーツクラブ 区スポーツ推進委員</p> <p>【障害者スポーツ関係】 障害者スポーツ指導者協議会</p> <p>【福祉関係】 区社会福祉協議会</p> <p>【有識者等】 大学関係者</p>	<p><実施時期> 1回目 9月15日 2回目 11月14日 3回目 来年2月8日(予定)</p> <p>【検討事項】 《かわさきインクルージョンモデル》の構築 ① 地域における障害理解促進に効果的な啓発広報についての調査及び実践研究</p> <p>② 地域支援者に対するサポートシステム構築に向けた調査及び実践研究</p>	<p>障害理解啓発広報事業</p> <p>地域における人材育成並びに流通事業</p>	<p>○地域における「障害」に対する認識と意識の現状調査 (対象)小学4年生～中学生とその保護者(約700名)</p> <p>○地域における障害理解啓発に向けた広報キャンペーン</p> <p>○当事者及び関係者を含む地域全体が継続的に情報を取得できるシステムの構築によるアクセシビリティの向上</p> <p>○ 障害者サポーター認定制度を構築し地域における障害者スポーツ普及促進に向けた人材育成を行うための講習会やイベント等を適時開催する。 <講習会>12月、3月(予定) <イベント>たかつチャレンジドカップスポーツ大会(11月)、たかつde笑顔 ファミリースポーツ縁日(12月)</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブとの連携による指導資格保有者等の継続的かつ有効な地域配置システムの構築</p>

自治体	実行委員会		取組内容	
	メンバー	実施時期、検討事項	取組のポイント	取組の詳細
神戸市	【行政】 保健福祉局 教育委員会	<実施時期> 1回目 12月(予定) 2回目 年度末までに実施	・障害者スポーツ選手 発掘事業	○ 障害者スポーツ選手発掘事業 【概要】 現行の障害者スポーツ大会や障害者スポーツ教室に参加がほとんど見られない、普通学級に通う身体障害児へのスポーツ参加の機会を提供するとともに、将来有望な選手の発掘につながることを主眼とし、スポーツイベントを開催する。 <実施時期・回数> 2月頃(1回)
	【スポーツ関係】 スポーツ競技関係者	【検討事項】 ① 市における障害者スポーツ振興事業の成果及び課題 ② 市の取組の中で充足していない分野(対象者、種目、参加方法、支援人材等) ③ 今後取り組むことが望ましい分野 ④ 障害者が地域でスポーツに親しめる環境づくり ⑤ 人材育成や市民理解促進の取組 ⑥ モデル的に実施するスポーツ・レクリエーションイベント	・冬季障害者スポーツ 教室事業	○ 冬季障害者スポーツ教室事業 【概要】 冬季スポーツを通じて市の障害者スポーツ参加の可能性を広げることを主眼とし、スケート等の教室を開催する。 <実施時期・回数> 3月頃(1回)
	【福祉関係】 社会福祉協議会 手をつなぐ育成会 身体障害者団体連合会		・障害者スポーツ地域 展開事業	○ 障害者スポーツの地域展開事業 【概要】 スポーツを通じた障害者の地域交流を目的に、地域団体や地域スポーツクラブが主体となるイベントを通じた働きかけを実施する。 <実施時期・回数> 11月(1回)
	【その他】 学識経験者			